

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.11.25 No.247 連絡先 FAX 042-555-1911



## CVオスプレイ横田配備撤回！ 11・21集会に5000人

「オスプレイ反対東京連絡会」主催の集会が11月21日、多摩川緑地福生南公園で開かれ、5000人以上が参加しました。福生市は市域の約3分の1を横田基地が占めています。

主催者のあいさつで、東京地評の森田稔議長は「横田でのたたかいを多摩から23区、オール東京へ、沖縄、横須賀など各地のたたかいと連帯しオール日本に広げ、根本にある戦争法の息の根を止めよう」と訴えました。

日本共産党の小池晃副委員長・参院議員はあいさつで、自衛隊が米軍とともに海外で戦争する拠点として横田基地が強化されている実態、米軍の先制攻撃等をにやう CV22 オスプレイの配備、自衛隊を米軍の指揮下に組み込む日米統合司令部設置の動きを中心に告発しました。リレートーク、デモ行進などが行われました。



## 16日～20日の人員降下訓練は米海兵隊

16日から20日まで、横田基地で延べ400人のパラシュート降下訓練が予定されていました。初日の16日は夜間に5人が降下。17日は、午前11時45分頃から午後1時半頃にかけて7回に分けて合計45人が降下しました。18日は12時半頃から13時ごろまでに2回で14人の降下を確認



しました。他の時間帯に、訓練が実施されていたかは分かりません。今回、雨天だったり曇天だったり、実際に人員降下訓練を確認できたのは合計64名でした。天候が良かったらかなり多数の人員によるパラシュート降下訓練が行われたことでしょう。(写真は18日昼頃撮影)

今回のパラシュート降下訓練について米軍横田基地広報は「赤旗」紙の取材に、「横田基地の第36空輸飛行隊と沖縄・普天間基地所属の海兵隊の降下部隊による合同訓練」と答えたそうです。

## 第80回横田撤去の座り込み 天気もみかた

11月15日(日)は、記念すべき第80回の横田撤去を求める座り込みでした。朝まで降っていた雨もやみ、とても良い天気。赤旗記者の佐藤つよしさんから、現在進んでいる基地強化の状況を詳しく話していただきました。

この日は、午前中横田基地を見学した高校生平和ゼミナールの高校生が参加(右写真)しました。大規模な人員降下訓練の通告に厳重抗議し、直ちに中止することを要求すること、を参加者一同で確認。



## 人員降下訓練中止を横田防衛事務所へ要請しました

( No. 247 の裏面)

11月13日(金)の17時過ぎに、大規模なパラシュート降下訓練を通告してきたので、土、日は抗議もできませんでした。

11月16日(月)9時半に、撤去の会の高橋代表と奥富福生市議は待ち合わせて、北関東防衛局横田防衛事務所に、座り込み参加者一同で確認した「横田基地におけるこれまでにない大規模な人員降下訓練の実施通告に厳重に抗議し、直ちに中止することを要求します」と、横田基地の撤去を求める西多摩の会の「横田基地における人員降下訓練についての緊急要請」をもって抗議と要請に行きました。(上写真)



緊急要請では、「①人員降下訓練を直ちに中止すること。②この要求を踏みにじて人員降下訓練を実施する場合は、防衛省北関東防衛局において、降下人員の実態を把握し、自治体に知らせること。③「横田防衛事務所から米軍に対し、日米合同委員会の遵守に努め実施するよう」に口頭で申し入れたというが、人員降下訓練の日米合意はないと聞いている。日米合意があるならその文書を明らかにすること。」を、北関東防衛局長と横田防衛事務所長に要請しました。懇談の中で中谷豊所長に、訓練終了後に降下人員を米軍に聞いてほしいと申し入れました。

### 「オスプレイは安全になったのか」 「世界」2015年12月号より

「世界」12月号に元朝日新聞社会部編集委員・石川巖氏が表記の論文を載せています。

「私の見た英語文献はオスプレイ(MV22)の問題点として次のような事実を指摘している。

▼できるだけ図体を大きくしないため、ローターを1.5メートル短くした。エンジンに負担がかかり能力いっぱい飛んでいるのでエンジン故障が多い。▼油圧パイプの油漏れが多い。油圧とは配管に入れた油の圧力で機器を操作するシステム。強襲揚陸艦に積むとき翼やローターを折り畳む。油圧パイプも折り畳むので、油漏れや引火の原因になる。▼高地や悪天候に弱い。ヘリ・飛行機両用のため機体の重量を少しでも増やしたくない。だから気圧が低い高空で機内の気圧を高める十分な与圧装置がない。2,3000メートル以上の高空では作戦能力が低下する。▼同じ理由で気象レーダーもない。寒冷地での結氷を防止する「結氷防止装置」が故障しやすい。そういった場所で結氷の原因となる雨にも強くない。核、科学、細菌戦下で使えない。これも重量を増やせぬため完璧な防護障壁がないからだ。▼エンジンがらみでは“異物濾過装置”の性能が悪く、いろいろな小片がエンジンに吸い込まれ故障の原因となる。砂漠や土埃の砂や泥がパーツの不具合を発生させメンテ要員の悩みの種になる。」等々。その他興味深い内容。

### 沖縄・伊江島で基地強化 CVオスプレイとF35着艦訓練場が2倍超

沖縄本島北西部の米軍伊江島補助飛行場(伊江村)で、米空軍特殊作戦機CV22オスプレイと、米海兵隊F35Bステルス戦闘機の訓練を行うため、強襲揚陸艦への離着陸訓練などを行う訓練場(LHDデッキ)を2倍以上に拡張する計画を米軍が進めていることが、「赤旗」紙が入手した内部資料「米軍沖縄伊江島LHD訓練場工事概要」で判明したそうです。年内に業者と契約し、2016年3月に着工。17年6月までに完成する計画です。資料によれば、CV22とF35を収容できる駐機場を拡張。さらに、現在の訓練場(全長429メートル)の前後に安全地帯などを設け、867メートルに延伸。米産骨材を用いた耐熱コンクリートや、アスファルトで舗装します。LHDデッキの舗装は「直接のジェット噴射、ヘリの気流に耐えるため」だそうです。